

たまいたま 川柳



盆栽美術館

令和3年(2021年)
3月号 (No.736)

日川協加盟

巻頭言

変わり者といふこと

人は、他人を評して普通とか平凡とか変わっているなどと言うが、評価の仕方に普遍的な基準があるのだろうか。天才とか凡才、奇人とか変人など、表現は更に多彩である。善人とか悪人とかの評価すらも、ひと絡げの中に入るかも知れない。

人は、言葉表現や挙措動作、服飾身嗜みや趣味趣向など、七癖とともに多面性を表出する。そして自分はまあまあ普通の人だと思いい、自分と異なる要素を示す他人を、変わっていると評している。そんな評し方には、正しいとか間違いとかの基準はない。勝手なのだから。言い替えば、世はまさに「変わり者」集団の場と言うことになる。

川柳をかじっていると、変わり者と見られることがある。低俗な雑俳遊びなどに現を抜かず遊び人に見られているのかも知れない。しかし現今のように揺れ動く世間を、見事な詩型で詠う雑俳人こそ人間味のある存在と言えるのではないか。ましてや川柳人は、諷刺の志を深く広く表白することで名を成している。尋常平凡な句では面白くない。川柳界とは、まさに変わり者集団の独壇場である。

そんな川柳人が今はただ息を潜めてコロナ禍の終息を待っている。地球規模で眺めるとこの世にはまた、利口者という変わり種も多多居られて、政治や科学を統べている。せめて彼らには、川柳人が安心・安全に集い合える世界を、一日も早く創り出して欲しいものである。

願法 みつる

日日是好

千の風偏西風の速きこと
コロナ禍へ役行者の雲隠れ
炊き出しへネズミも並ぶ週二日
テレワーク汗する者は窓の外
報道を日々問うている密の部屋

禁足の日々風呂に浮く垢
閻魔のマスク鬼を笑わせ
民よ泣けとは口が裂けても
担々麵へ啜うウイルス
神社仏閣ウエルカムカム